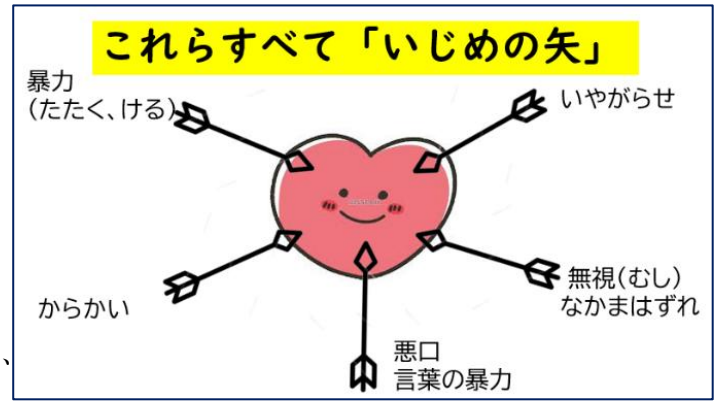
校報
さきがけ
めざせ！ 令和を拓く、ｅ（いい）学校！
令和８年１０月２３日
R8－１５号
花巻市立大迫小学校
☎0198－48－2226

全校朝会

「いじめの矢のあとは、のこる」

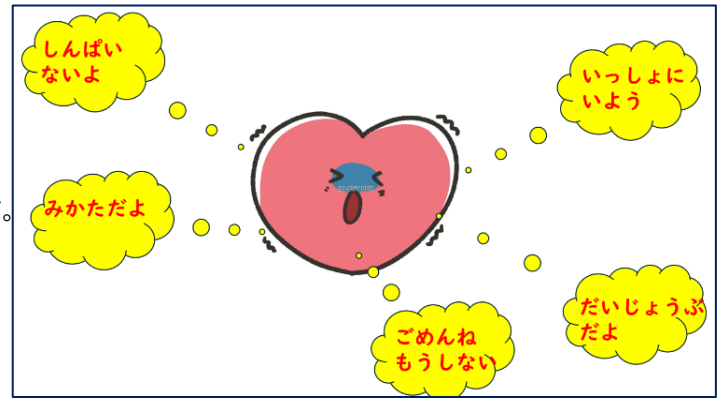
１０ 月20日(火)に全校朝会を行いました。今回は、次の日に配る「いじめアンケート」に関わる話をしたいと考え、表題にある「いじめの矢の跡は、残る」という題材で話しました。以下は、その内容です。

「ある矢」について話しました。右の絵は、
みんな(どの人にも)の中にある「心」です。
そこに、いろいろな矢がささります。
①机やノートに落書きをしたり物をかくしたりする
「いやがらせの矢」。
②人と違っていることを笑ったり、話し方や動き方をまねしてばかにしたりする「からかいの矢」。
③その人が来たら急に話をやめる、こそこそ話をする、一人ぼっちにする「無視、仲間はずれの矢」。



④遊ぶふりをして、たたいたり、けったりする「暴力の矢」。
⑤「悪口・言葉の暴力の矢」。「死ね」「弱虫」「きもっ」「ばかじゃないの」などの言葉。直接言わなくても、スマホなどを使って SNS やラインに誰かの悪口を書き込むのも、この矢。これが「いじめの矢」です。

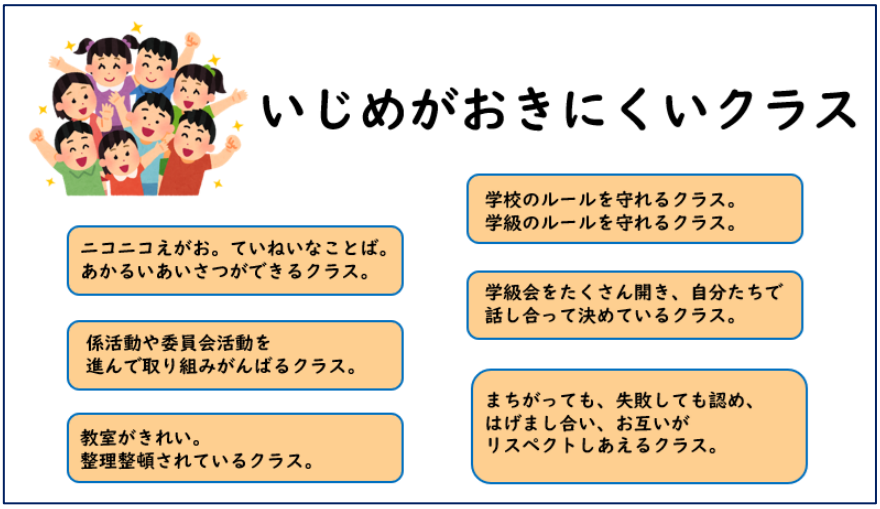
このいろいろな矢が刺さると、心がとてもいたいのです。この矢を一人で抜こうとしても辛くて難しいのです。
ですが、
仲間外れされている子に「一緒にいよう」と
声をかけると、矢がとれます。
言葉の暴力をしてしまった友達に
「ごめんね。もうしない。」と謝ると、矢はとれます。
その他にも「心配ないからね」「大丈夫だよ」
「味方だからね」等の励ましの言葉を言うと、
矢はとれていきます。



でも、ここが大事。
矢は取り外すことが出来ても、
矢がささった跡の穴は残る。
穴が開いたままいつまでも心に残る。
ここが、大事なところです。
このとおり、いじめられたことは、いつまでも心に残るのです。
だから、
いじめは　どんな理由があってもいけないんです。



逆に、**いじめが起きにくい学級・クラスがあります。**
どんな学級かというと
「**ニコニコ笑顔、ていねいな言葉、明るいあいさつができる学級**」
「**学級会をたくさん開いて自分たちで話し合って決めている学級**」
「**係活動、委員会活動を進んで取り組みがんばる学級**」
「**学級、学校のルールを守る学級**」
「**教室がきれい、整とんされている学級**」
「**まちがっても、失敗してもみとめ、はげまし合う、おたがいがリスペクトできる学級**」。
こんな学級はいじめがおきにくいのです。



どうしたらいじめがおきないか、学級で友達や先生と一緒に考えて欲しいと子供たちに投げかけました。先生は、学級担任の先生だけではありません。保健の先生、やまゆりの先生も、副校長先生も私も含めて一緒に考えます。みんなのことを大切に思っています。**今年度もあと半分**です。いじめのない学校に。



以上のような話をしました。
子供たちは、真剣に聞いてくれていたようです。
いじめは、しない。
もし、いじめが出たら、みんなで止める。
もちろん、いじめをださない学級・クラスにする。
そして、いじめのない学校にする。
みんなの願いです。